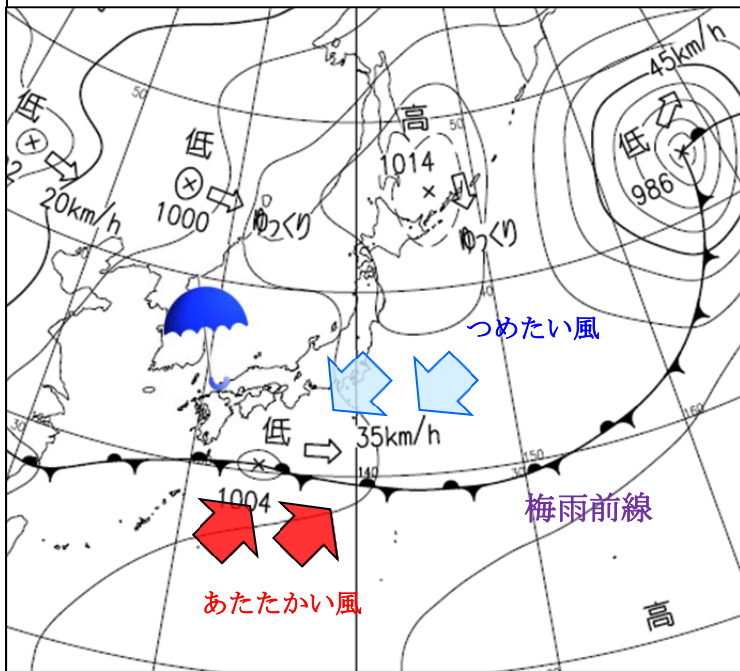


「梅雨と大雨」特集号

梅雨の天気図

梅雨とは、晩春から夏にかけて雨や曇りの日が多く現れる現象や期間



今年、福岡管区気象台では、九州北部地方は「5月27日頃、梅雨入りしたと見られます。」と発表しました。

どうして夏の前に梅雨があるのでしょうか。それは、夏が近づくと南から暖かくしめった空気をもつ太平洋高気圧が張り出してくると、北にある冷たい空気をもつオホーシク海高気圧と、日本付近でぶつかるからです。この2つの高気圧がぶつかるところに梅雨前線ができて、くもりや雨の日が多くなり雨をたくさん降らせます。これが、梅雨です。



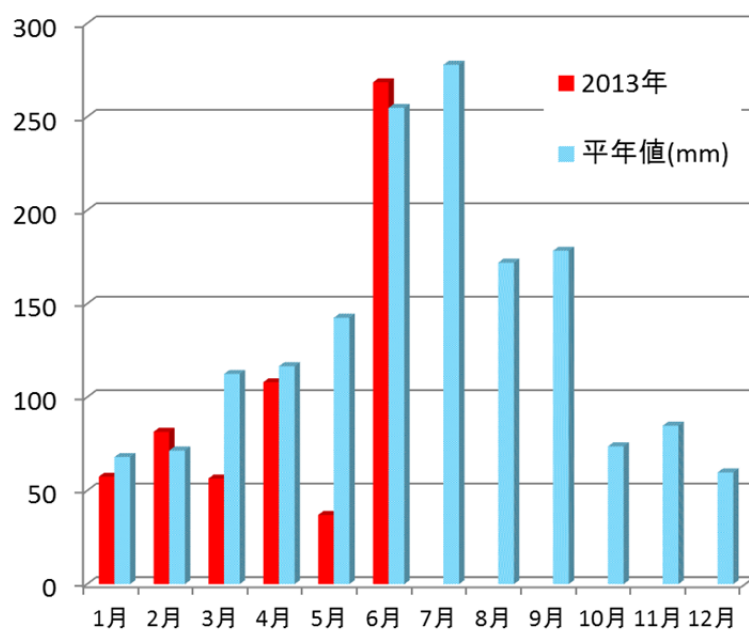
2013年	7月5日	金曜日
平成25年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
気候・調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp	

6月、7月(梅雨期間)に、1年間の約1/3の雨が！福岡の雨量

気象台では、いろいろな解説を行う際に、比較の基準として平年値(30年の平均)を用いて説明をしています。

この平年値によると、九州では梅雨期間と大よそ対応する6月と7月の雨量が年間で最も多いことが分かります。

今年、福岡県の6月の雨量は概ね平年並でしたが、7月の平年の雨量は6月よりも多く、梅雨の末期で大雨となりやすい時期を迎えます。



- 梅雨には、1月分ほどの雨が1日~2日間で降る事がある！
- 雨が山やがけの近くで降ると、土砂がくずれて、家がこわれることもある！
- 都市や町で降ると、地下街や低い道路がプールのようなになる！道路にも水が流れて、歩くと流される！
- 山に降った雨は、1時間~3時間で川に流れて、下流では洪水になる！

アメダス！ 雨を測るからからアメダス？ それって、オヤジギャグ...



アメダス(AMeDAS)とは「地域気象観測システム」の英語名「Automated Meteorological Data Acquisition System」の頭文字を並べた略号ですが、気象庁としては珍しく？シャレたネーミングとなっています。

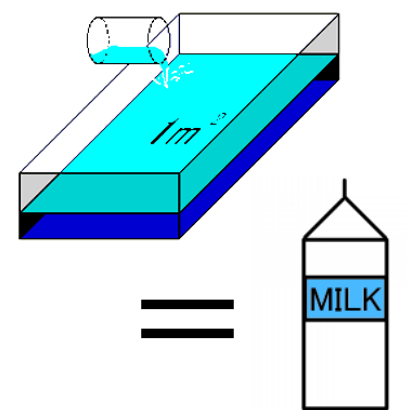
現在、全国約1,300ヶ所に設置した無人の観測所で、雨、風、気温、風向風速、日照時間を自動で観測しています。

<<お天気 Q&A>>

Q: 1ミリ(1mm)の雨ってどんな雨??

A: 例えば「1時間に1ミリの雨」とは、どのような雨でしょうか。

1ミリの雨を、1平方メートルあたりにすると、1リットルになります。



「1ミリの雨」といっても、カサがないと外に出られないくらいの雨なのです。

パソコン → 気象庁HP

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



携帯 → 防災情報提供センター

<http://www.mlit.go.jp/saigai/osaijoho/i-index.html>

